

街かど

●募集しています

- 短歌
- 俳句
- 詩
- 随筆
- イラスト
- 写真
- まんが
- その他

●町への意見や要望も受け付けます

●文章は苦手というかたは連絡を取材に行きます

●匿名もよいです

投稿・連絡先は黒埼町大野4-1

黒埼町大野4-1

377-3101



足並を揃えて

大塚 芙美(鳥原大明)

母が他界して、父の体も心も弱くなってしまい、新潟の兄の所へ、父は九州の福岡から、私は東京から集まって、この黒埼町に来て三カ月目に入ったところだ。

新潟の冬は空が重く低く、風は痛く力強く、上からも下からも追いかけられ、追い詰められたような苦い冬の味がありました。

雪が溶けるとそれまで死んだように動かず、じいっとしていた風の香りがつかえひつかえ柔らく飛んできて私を外に誘います。春の風に乘って身を委ねていると、黒埼

町のこの家に着きました。父が来た時はリンゴの花が満開になって父を迎えてくれました。頑固そうな土の隙間から次々と新芽が頭をつき出してみるみるうちに空へ伸びていく。小さな小さな野の花、かれんな花たち、信じられないほどたくさん命が春の香りに目覚めて起き出してきます。凄いですね。冬も凄くけれど春ももの凄くもの凄く。風に打たれ、雨に打たれて草花も虫もそのひとつひとつは小さなものだけに、小さな自然が広大な自然を形作っていつか、何が起こ

つても逆らわずにやさしく丸く笑って揺れています。近所の皆さんに教わって野菜を育てています。花の苗も分けてくれました。月に何度か開かれる「市」にも連れていってもらいました。祖父はヨタヨタとおぼつかない足どりで散歩に行きます。散歩から帰ってくると、うれしきで「はち切ればかりの笑顔で私にも幸せを分けてくれます。ここの人たちは決して冬の風に吹き飛ばされたりしないでしょう。強くやさしく、そして穏やかな春の心を持っています。

悲しいことに私はときどき父のことでイライラします。それでも、哀憐の情とでもいうのでしょうか、赤子をいとおしく思うように、寂しい父の背中を見るときは、寂しい父の背中を見るときは、父も私も、そして兄も、自然のひらの上でヨタヨタと歩き始めています。ここにきて良かった」と思います。いつの間にか私より小さくなった父と肩を並べて、これからこの町で足並揃えて歩いていけるうです。そして、だんだんと心がやさしくなれそうな気がします。

蛍見に行つて

小松 スイ(鳥原)

先日、蛍を見にお誘いしたのですが、あなた方が行かなくて、残念でした。場所は福井という所で、角田山の山すそになるので、川が流れていました。その辺に蛍がいたのです。

その場所に着く前に地元の人に聞いたのですが、ちょうど蛍がいればいいですね、まあ出会えば幸運ですから、その辺を散歩してみてくださいと言われて、見られれば幸いという軽い気持ちで訪ねたの

です。こんな山奥にわざわざ蛍を見にくる物好きは私たちくらいのもので、行ってみたいから、あにはからんや、はるかな方に電柱の光と人声がしたので、あややと趣を同じくする人もいたもんだと思つてうれしく思いました。

少し奥に入ると、いました、いました。乱舞とまではいなくても、蛍の青白い光がスーイ、スーイと流れるのです。

光が大きいんだそうです。空には満天の星、何だかこの世でなく、幻の世界にいるような心地がしてきました。そこでつたない一句が浮かんできましたので、書き記します。

山すその清き流れに蛍舞う
山の辺の小川に沿って蛍舞い
スイ

※先日、蛍見に誘われて残念ながら行けなかった私に、友人の小松スイさんが書き送ってくださいました。とてもすがすがしい心地にさせられました。なんだから一人がいたでいて、しまつておくのが惜しい気がして、町の広報に投稿しようかな、と言いましたところ、笑つていましたので、承諾されたものとして、寄稿いたしました。(阿部浄子)

短歌

黒埼短歌会

めぐり来し春を花々どりぐの
色あざやかに咲きほこるなり
驚尾 幸角

病む人を気づかいつつ行く旅
は風の音にも心乱るる
広瀬八重子

明けやらぬ静寂の中をかっこう
の遠く聞えて故郷しのぶ
金内 セツ

ひねもすを語る言葉もなく過こ
し夕べになりて人の恋しき
渡辺 ウタ

仕事終え線洗いつつ眺めたる減
反の田に茶豆のびたり
長谷川トリ

子供等は町内毎の大き旗を叫声
あげて体ごと振る
堀内 昌江

観光の日本人われに向くる目の
きびしと思ふ台湾の人の
阿部 浄子

農具場に鼻くう蒸を出しやると
明暗われは戸を開けに行く
笠原 セツ

みそ倉の小窓に若葉まぶしくて
緑のあかりに味噌の香におう
大谷 モト

長かりし務め果たして遠き日々
思いかえして自分史綴る
山田 卯八

親と子の雀を病夫に見せたと
友は窓辺に今朝も餅を撒く
泉井 ヨ子

ブルトラーザーにシートをかけて
入院しそのまゝ癌に兄は逝きたり
大矢 キイ

冬の日に下肥やりし甲斐ありて
柿の古木や木々の葉さわやか
柏 直樹地

減反の田にみのりたる麦匂うた
そがれ時を風やわらかく
小出美喜子

田植過ぎ季節の移る早苗田に蛙
鳴きしを補聴器にきく
宮田 ミイ

風紋の消えかかっている砂丘に小
鳥遊びし足跡みだる
伊藤 一男

決り馬波にたわむれし一時の茶
飲みの友の笑顔こぼるる
永田 和子

俳句

黒埼俳句会(静水選)

水の面S字にすべる水すまし
一定

大漁旗かかげ漁師の海開き
みよし

さらさらと大きな暖衣わら帽
モト

風にゆれ折鶴蘭の舞ふごとく
正二

歌舞伎絵の團扇賜わる老舗かな
しげ

雨粒の水輪幾重や蓮の池
誠伍

水車音を背にして夏木立
みどり

夏の旅皆方言の露天風呂
八重

黒雨風に笠草のゆれ顔上ぐる
よしお

桐の花馬車が手を振る蔵の街
吉美

梅雨雲に佐渡かすかなり芭蕉堂
睦治

蝶舞うてしばらくとまり鏡の光
とど

蛙なく姉と二人のもらい風呂
代香

夏木立峰に雲置く富士の山
けんじ

信号機赤の点滅梅雨の夜
文雄

かつこうや孫を迎えの散歩道
たか

田草取り畦に積みたる泥の草
きよし

風少しカンパネラ今鳴らんどうす
静水

山門を出ててかきました時雨
小林とし松

遠来の友に恵みの五月晴れ
佐藤 キン

七夕の竹曲りける宵の雨
今井 千代

地区婦人有権者 研修会に参加して

五十嵐チエ子

先日の研修会に参加させていただき、誠にありがとうございました。日程・内容ともに申し分ないものであったと思われました。

混迷の黒埼町と全国に報道され、63年版新潟県年鑑にとりあげられた私の町…二度とおこしてはならない、全町民ごぞつての明るい選挙運動の啓発をしなければ、と思っておりました折、この研修会に参加させてもらい、学習することができ、非常に喜んでおります。当日得た知識を同僚や、友人、また集会の折にお話をし、政治と生活のかかわり、正しい知識等を話し合い、意識の向上をはかなければならないと思っております。

全体討議の中に出てきました、有権者のたかり意識は断じて許せないことであり、人間として一番恥じなければならぬ行為であると思われました。

「立山にこだまする“三ない運動”」の映画は大勢の方々からみてもらいたいと思われました。

当町もクリーン町政を訴えて女性二人の議員さんが補選で決り、ともにがんばっておいでですので、大きな期待を寄せている私です。

※「昭和62年度婦人有権者研修会感想文集」(新潟県選挙管理委員会)より抜粋。地区婦人有権者研修会は毎年、西蒲燕地区の婦人有権者を対象に開かれる。昨年は弥彦村で開かれた。

8月10日は「道の日」
道路は美しく、安全に

成人式

8月15日月 午前9時～

会場：農村環境改善センター
対象：昭和42年4月2日～43年4月1日に生まれた人

学生等で住民票を移されたかたもおいでください。(教育委員会へ事前に連絡を) 問い合わせ：教育委員会 (377-5211)

町政15周年記念誌
「町は生きている」

◆町外の親戚に贈りたい
◆保存用にもう1冊ほしい
というかたに、1冊1000円
でおわけしています。申し込み・問い合わせは役場企画開発課広報統計係までどうぞ。

工事名	事業者	請負額	入札日	完工期限
山田小学校仮設校舎改修工事	日商総合企業	5,800千円	6月4日	6月30日
山田排水路改修工事	(株)国土	2,300	6月11日	8月19日
新大野排水路改修工事	(株)樋口組	900	6月11日	8月9日
町道寺地善久線舗装工事	(株)本間組	1,600	6月11日	7月20日
町道高速側道4号線歩道工事	(株)新潟広瀬組	4,200	6月11日	9月3日
集落道59号線(第1工区)改良工事	(株)新潟広瀬組	2,700	6月11日	7月15日
木場小学校理科室設備改修及び室内壁窓枠工事	(株)山際工務店	3,990	6月11日	8月5日
山田小学校木造校舎取りこわし及び仮設渡り廊下設置工事	日商総合企業	13,100	6月11日	7月31日

入札結果から